

# しらゆり

光洋の里



詔光の里



キャンキュー  
第 39 号  
2023.10  
October

泉の園



希望の園



統括事務局



ナイス



互助の館 (津田)



互助の館 (矢田)



ワークセンター島根





社会福祉法人  
しらゆり会

広報誌

地域とともに歩むしらゆり会

# しらゆり

オフキユ  
第 39 号  
2023.10  
October

## c o n t e n t s

### 2 理事長挨拶

しらゆり第39号 発刊によせて

### 3 法人基本方針 令和5年度運営方針

### 4 新施設長就任のご挨拶 永年勤続者表彰 しらゆり会役員等名簿

### 5 新規採用職員紹介

### 7 令和4年度寄付・寄贈 施設整備事業 苦情処理状況

### 8 令和4年度決算状況

### 9 施設の活動報告

- 救護施設 泉の園
- 障がい者支援施設 希望の園
- 相談支援事業所 ねくすと
- 共同生活援助事業 互助の館
- 障害福祉サービス事業 ワークセンター島根
- 障がい者支援施設 光洋の里
- 生活介護事業 さざなみ
- 軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷
- 特別養護老人ホーム 詔光の里
- 老人デイサービス事業 きらめき
- 老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい
- 訪問看護ステーション 暖心
- 居宅介護支援事業所 ナイス
- 児童福祉施設 しらゆり保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第2保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第3保育園
- 児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園





しらゆり第39号

## 発刊によせて

社会福祉法人 しらゆり会

理事長

国頭正治

2023年スタート時、コロナ感染がピークから少しずつ減少に向かい始めておりました。

そして、5月8日に感染症区分5類へとなり、イベントや賑わいが戻りつつあります。しかし、コロナ過での自粛が続ぎ、多くの産業界においても労働力不足の声が消えません。

政府は「こども未来戦略方針」を発表しましたが、実質的な追加負担が生じないよう歳出改革を徹底するとしています。その中の1つに保育改革が挙げられています。親の就労の有無に関係なく、時間単位で保育施設を利用できる制度を採り入れる。また、年齢に応じた保育士の基準を緩和することも挙げられていますが、どの制度に関

しても保育士の確保増が必要となります。しかし、現実的には保育士の確保は現状においても簡単なことではありません。財源確保の問題点は先送りでも一つ解決出来てなく、社会保障の歳出削減を優先されれば、医療・福祉の問題はより深刻になります。

また、エネルギー価格・物価高騰が続ぎ、運営が非常に厳しくなってきました。我々福祉業界だけの問題ではありませんが、ただ嘆くばかりの支出削減には限界があります。福祉サービス価格が自由設定になるわけでもなく、3年に1度の報酬改定においても現実価格の反映をしっかりと組み込まれたものにもなりません。多くの福祉事業所が赤字運営を余儀なくされ、事業を中止したり、廃業するところも出ておりま

す。様々な値上げの波はさらなる福祉事業の運営に大きな傷跡を残しております。苦しいのは我々福祉業界だけではなく、多くの中小企業の皆様も同じだと思えます。多くの仲間と知恵を出し合いながら乗り切れるよう頑張っていきたいと思えます。

コロナ感染が無くなったわけではなく、また、感染が拡大傾向にある中、感染予防を継続しながら、少しでも早く落ち着いた環境になることを望み、皆様方の福祉事業所利用のより良い価値を生み出せるよう、私どもも努力してまいりたいと思えます。そのためにも、今後とも地域と共に歩むしらゆり会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の5つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていただけるように、役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。



## 重点目標

新型コロナウイルス等の新たな感染症の発生、毎年のように発生する自然災害など、私たちは日々、不確実性に伴うリスクにさらされている。法人としては、困難な事態に備えて、持続可能な経営戦略を組み立てておくことが必須となっている。

どのような状況にあっても、しらゆり会が地域におけるセーフティネットとしての役割を担い続けるために、これまでの社会福祉法人をめぐる動向を振り返り、今後の法人経営のあり方について考えるとともに、地域共生社会の実現に向けて存在意義を高め、必要とされる法人運営を目指していく。

### 一、新型コロナウイルスの5類感染症移行後の対応

移行後の社会の動向について注視しながら、今後も感染リスクに応じた柔軟な感染対策やサービス提供の工夫、人材確保等の課題に継続して取り組み、「新しい生活様式」に応じた事業運営のあり方を模索していく。

### 二、福祉人材の確保

島根・鳥取両県においても福祉サービスのニーズの増大、高度化、複雑化が一層進んでいるが、一方で若年労働者の減少が進み、人材難の状況は続いている。当法人においても、社会福祉従事者を相当数確保していくことが課題であり、魅力ある職場づくりを進めていくとともに法人のイメージの向上を図り、積極的な人材確保に努めていく。

### 三、各事業における経営状態の維持・改善

福祉業界では、社会保障費の抑制による経営悪化や人手不足、同業者同士の競争激化などにより、多くの事業所が厳しい経営状態にある。加えて、世界的な物価上昇についての対応等も含め、当法人においても、事業の安定的・継続的な経営を図っていくため、しっかりと現状を分析し将来を見据えた着実な取り組みを進めていく必要がある。現場の意識改革やサービスの質向上等を進めるため、本部機能の強化を図っていく。

## しらゆり千鳥保育園 施設長 就任にあたり



しらゆり千鳥保育園  
施設長  
持田 健司

しらゆり千鳥保育園の施設長に就任しました持田健司です。3月まで小学校勤務でしたので、保育園の生活はとても新鮮です。園児はやりたいたことがいっぱいあるから、先生方は周知な準備をして、まぶしく感じます。先生方は周知な準備をしたり、熱っぽく保育について議論したりしながら園児の成長につなげようとしていて、刺激を受ける毎日です。

施設長としては、施設長会、幹部会、園長会などで管理職の皆様と話ができる場があることで、大きな安心感をもりました。また、統括事務局の皆様にも丁寧な接していただき、ありがたく感じています。4月以降出会わせていただいた方々により、新たな世界が広がる自分に楽しみが広がっています。

この少子化のなか、本園を選び通わせていただいている保護者の皆様、そして園児たちのために、職員と心を一つにして高いレベルの保育ができるよう力を尽くしたいと思います。この道では駆け出しの私ですのでご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、よろしくお願いたします。

## 永年 勤続者 表彰

今年度は勤続20年の表彰者は5名、10年の表彰者は1名となりました。

### 永年勤続表彰者 20年

施設名	職名	氏名
事務局	課長	比企 博志
泉の園	事務員	石本 静香
光洋の里	支援員	大廻 健吾
光洋の里	看護師	渡部 真理子
しらゆり第3保育園	保育士	足立 佑介

### 永年勤続表彰者 10年

施設名	職名	氏名
しらゆり保育園	保育士	吉坂 幸汰

## しらゆり会役員等名簿

職	氏名	現在の職業及び公職
理事	国頭 正治	理事長
	国頭 正久	統括事務局事務局長
	宮廻 洋子	しらゆり第3保育園施設長
	若槻 明彦	(元本会施設長)
	河内 大輔	栄徳商事(株)代表取締役社長
	松田 秀敬	島根県議会議員、(株)TReX取締役
	松尾 健五	(元本会施設長)
	廣瀬 芳徳	松尾社会保険労務士事務所
監事	出雲あかり	(元栄徳商事(株)代表取締役)
		松江市障がい者基幹相談支援センター「絆」相談支援専門員
職員	三島 進	(任期)令和3年定時評議員会最終結の時から令和7年定時評議員会最終結の時まで
	瀬崎 淳一	現在の職業及び公職
	山本 寿子	松江市議会議員、(有)三島運輸役員
	上田 恭己	(有)ペリーシヨップ代表取締役専務
	石田 正美	(元松徳学院高校非常勤講師) 松江栄養調理製菓専門学校校長
評議員	花田 範久	希望の園保護者会会長
	中島 修	(株)山陰中央新報社キャリアスタッフ
	竹田 純子	(元社会福祉事業団職員)
	小林 洋一	(元本会施設長)
		(元)株島根銀行 総合企画グループ審議役

# 新規採用職員紹介



ご利用者の方々が、安心、安全に生活ができるよう関わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

山根美祈  
 看護師  
 採用年月日  
 令和5年2月1日

利用者様と同じ目線に立ち、皆さんが安心して楽しく過ごせるよう努めていきます。

井上亜希美  
 看護師  
 採用年月日  
 令和4年9月1日

初心に返り、ケアに対して学び考える姿勢を忘れずに仕事に取り組んでいきたいです。

黒崎紗斗美  
 看護師  
 採用年月日  
 令和4年7月1日

入所されているご利用者の方が、安心して過ごせるようお手伝いさせていただきます。

小椋麗子  
 看護師  
 採用年月日  
 令和5年5月1日

未熟者ではありますが、ご利用者様に寄り添えるよう心掛けたいと思います。

藤原あかね  
 介護職員  
 採用年月日  
 令和5年4月1日

利用者様の笑顔を沢山見られるよう、頑張っていきたいと思っております。

高橋 諒  
 支援員  
 採用年月日  
 令和5年5月1日

調理員として経験がなく、初めは不安なことも多かったですが、周りの栄養士、調理員の方から親切に教えていただきました。調理した料理を美味しいと思ってもらえるように頑張りますので、これからもよろしくお願いいたします。

中山あみ  
 調理員  
 採用年月日  
 令和4年8月1日

ご利用者様との関りを大切に、よりよい毎日を過ごしていただきたいと思います。

石倉真純  
 介護職員  
 採用年月日  
 令和5年3月1日

今年度より光洋の里で勤務させていただきます。

佐々木由加理  
 支援員  
 採用年月日  
 令和5年4月1日



きらめき  
看護師  
**重松 豪志**  
採用年月日  
令和4年7月1日

昨年7月から「きらめき」で勤務させて頂いております。利用者様の「心」と寄り添い、在宅生活を安心、安全に送って頂くために「通所介護としての役割」を考え、日々精進しております。宜しくお願いいたします。



しらゆり保育園  
保育士  
**永田 菜摘**  
採用年月日  
令和5年4月1日

「笑顔」をモットーに子ども達と毎日楽しく関わっていききたいと思えます。慣れないことも多く、戸惑うこともありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



しらゆり第3保育園  
保育士  
**山野 綾巴**  
採用年月日  
令和5年4月1日

子ども一人一人に寄り添い、毎日元気に楽しく過ごしていきたいです。子ども達と共に成長できるよう、精一杯頑張ります。よろしく願います。



ねぎらい  
訪問介護員  
**永松 安岐子**  
採用年月日  
令和5年6月1日

6月より勤務させて頂いております。今までの経験を活かし、少しでも利用者様の生活の支えになれたらと思います。よろしく願います。



しらゆり保育園  
保育士  
**佐野 文香**  
採用年月日  
令和5年4月1日

元気いっぱいの子ども達と一緒に日々成長していきたいと思えます。未熟なところはありますが、一生懸命がんばりますのでよろしく願います。



暖心  
看護師  
**森 洋子**  
採用年月日  
令和4年10月1日

昨年より、暖心で働かせて頂いております。利用者様がご自宅で日々安心して過ごせるよう関わっていききたいと思えます。よろしく願います。



ナイス  
介護支援専門員  
**須山 幸枝**  
採用年月日  
令和4年10月1日

今までの経験を活かし、心機一転頑張りたいと思えます。よろしく願います。



しらゆり保育園  
調理員  
**松本 直巳**  
採用年月日  
令和5年4月1日

4月より臨時職員から正規職員として採用になりました。より一層の責任を持って仕事をしていきたいと思えます。よろしく願います。



統括事務局  
事務員  
**伊藤 駿平**  
採用年月日  
令和4年10月1日

10月より統括事務局で事務員として勤務しております。ミスのない事務業務を心がけ、皆様の力になれるように日々頑張っていきます。至らない点多々あるとは思いますが何卒よろしく願います。



ワークセンター島根  
支援員  
**小林 涼子**  
採用年月日  
令和5年4月1日

この度、正規職員として勤めさせて頂く事になりました。利用者の方々が継続して就労生活を送れるよう、一人一人に寄り添った支援をしていきたいと思えます。よろしく願います。



しらゆり第2保育園  
保育士  
**日高 玲子**  
採用年月日  
令和5年4月1日

子どもたちと一緒に毎日を楽しく、学んでいきたいと思えます。健康と省察を大切に頑張ります。よろしく願います。

## 令和4年度 寄付・寄贈

令和4年度も多くの方々から善意のご寄付をいただきました。

寄付者（敬称略）	施設	寄付物品
中島 修	きらめき	寄付金
鈴木 秀一	光洋の里	寄付金
詔光の里親族会	詔光の里	寄付物品
平方 博道	詔光の里	寄付金
森 義郎	光洋の里	寄付金
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品

## 令和4年度 施設整備事業

1. 修繕関係	
居室壁修繕工事	光洋の里
洗面カウンター取替工事	さざなみ
昇降機改修工事	夢楽の郷
シャワールーム設置工事	夢楽の郷
法面復旧工事 (保護工調査設計・安定化対策工事)	ワークセンター島根
おが〜るシステム導入 (ICT化推進事業補助金)	しらゆり保育園
	しらゆり第2保育園
	しらゆり第3保育園
	しらゆり千鳥保育園
厨房エアコン取替工事	しらゆり第2保育園
保育室エアコン取替工事	しらゆり第2保育園
保育室床修繕工事	しらゆり第2保育園
安全柵設置工事	しらゆり第3保育園
2. 備品関係	
食器洗浄機(更新)	(光洋の里)

## 最近の入札結果

令和4年度はありませんでした。

## 苦情の状況 (令和4年度)

令和4年度の苦情受付総数9件でした。具体的には、職員の対応時の印象の悪さ、親族に対する説明不足等の苦情が5件。また、サービス提供に関する苦情が3件、利用者間でのトラブルに関する苦情が1件でした。

これらのお申し出頂いた苦情に対し、職員間での協議を重ね、ご本人様やご親族の皆様への説明を丁寧に行ってきました。

今後もお申し出頂いた苦情を真摯に受け止め、より良いサービスの提供が出来るよう精進して参ります。





# 「一歩ずつ前を向いて進んで行こう」 願いを込めて…。

## 施設の活動報告

### 願いよ届け

### 救護施設 泉の園



ゴミ拾い頑張りました

七夕の季節：3年前の七夕から「コロナが終息したらやりた  
い事」を思い思いの願いが叶うよう終息を祈って毎年短冊を書  
いてきました。R5年5月に5類引き下げとなり、願いが叶う  
生活に戻る兆しが見えてきました。念願の自主外出も再開で  
す。外出が出来ずにいた間に、セルフレジや人との距離感など、  
戸惑いも見られましたが、今  
では毎日の様に近隣の散歩や  
近くのコンビニへ外出されて  
います。  
コロナ禍で外出再開を待つ  
中、気分転換も兼ねて「近隣  
のゴミ拾い」を行いました。  
草むらに自転車や電化製品な  
どを見つけた利用者様が「誰  
がこんな所にこんな物を捨て  
るんだろ」と残念そうにマ  
ナーについて語りながら皆が



由志園 初めて行く方も多く短時間でしたが癒されました



4年ぶりの890ライブ

張り切ってゴミを拾い集めました。  
園の中でも皆が「マナー」や「ルール」を守って生活してい  
けば「住みよい環境の出来上がり」です。  
交流も始まり、5月26日には書道家でシンガーソングライ  
ターの友近890様が来園してくださいました。泉の園には、  
4年前にも来園くださり、その時に購入されたオリジナルT  
シャツを着て、やっと新園舎でお迎えすることが出来ました。  
会場は笑顔が絶えず、賑やかで華やかな「笑顔ライブ」となり  
ました。心躍る素敵な時間を過ごすことが出来てコロナ禍明け  
にピッタリの良いスタート  
になりました。  
遠足も春と秋の年2回希望  
される所に出掛けています。



境港 海とくらしの史料館  
魚についての説明を熱心に聴いています



グッズを買いました！

今年も七夕に願いを込め  
て！  
願いが叶います様に！

## 遠足・一泊旅行

流行したコロナウイルス感染症の影響で世界中が自粛のなか、希望の園もイベント等を自粛してきました。5月にコロナウイルスが5類に移行され、徐々にですが緩和に向かっています。その中で就労継続支援B型利用者さんを対象に、遠足・一泊旅行を計画し、6月に実行することができました。

遠足8名、一泊14名、職員5名での参加となりました。

1日目は鳥取市砂の美術館へ。エジプトの歴史をモチーフとした大きな砂の彫刻に圧倒され、感動しながら楽しむことができました。その後は、食事をし、クイーンポウルにてボウリングをしました。何年ぶりにするという利用者さんも多く、短い時間でしたが楽しんでいました。

一泊旅行の利用者さん、クリーニングの取引先でもある水天閣様に泊まらせていただきました。

食事・温泉を楽しみ、クリーニングで自分たちが仕上げた品物を違った形で見るこ



とができ、いい体験にもなったと思います。

2日目は島根ワイナリーでお土産を買う人、ソフトクリームを食べる人など自由に過ごし、その後しゃぶしゃぶ食べ放題でお腹いっぱい食べ、苦しいという方もいましたが自分の好きなものを好きなように食べることができるようになりました。醍醐味だったと思います。最後はゆめタウン出雲にて映画マリオブラザーズを鑑賞し、帰路につ

きました。

約3年ぶりの遠足・一泊旅行で、利用者の皆さんに少しでも楽しんでもらえるようにいろいろ詰め込んだ計画となりましたが、楽しかったと言葉をもらい安心しました。今後もコロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、一緒に活動する楽しみを提供していきたいと思っています。



相談支援事業は、職業柄、たくさんの方との「出会い」があります。

利用者様の望む生活の実現をお手伝いするためには、その方の足りない部分よりも、ストレングス（強み）に着目し、動機付けしていくことが良いとされています。「好きこそものの上手なれ」と言われるように、つまりその方の好きなこと、興味のあることを関連付けて支援の中に組み込んでいけば、自然とがんばる意欲が湧くのではないかと、思うことなんだと私は解釈しています。

しかし、どんな仕事にも言えることですが、人相手なら尚更、まず信頼関係なくしては相手の本当の気持ちを引き出すことは出来ません。この人になら何でも話していい、という信頼獲得と、相手のストレングスをいち早く知るために、まず私は相手と自分との共通点を探すようにしています。好きなスポーツ、芸能人、趣味などで共感出来るものがあれば幸いで、相手も自分もテンションが上がり、一気に距離が近づきます。仮に、相手

の方の好きなものが自分の知識の中になかった場合でも、どんなものかを知るきっかけになります。

以前、歴史が大好きで、目を輝かせて話しをしてくれるお子さんと関わる機会がありました。正直、私は過去の出来事に一切興味が持てず、周りの友達が織田信長や徳川家康といった戦国武将に憧れを抱いている時期に、私はというと、日本史の授業中に大好きなNBA（アメリカのバスケットボールリーグ）の選手の名前をひたすら書き出しているような少年でした。しかし、今はNHK大河ドラマが私のお気に入りとなり、特別休暇をもらってそのドラマの舞台へ行かせてもらうほどハマっています。そのお子さんとの「出会い」が自分自身の世界を広げてくれたのです。

ねくすとが支援対象としている障がいをお持ちの方々は、年齢層は幅広く、特性も困りごと多種多様で、支援の手立てに迷うことも多いです。しかし、そうした思い悩

んだ時間や、「出会い」が自分自身の見聞を広めていき、財産となっていくことを思うと、相談支援に携わらせていただいている現状に感謝せずにはいられません。

これからも「出会い」を大切に、楽しみにしながら日々の支援に努めて参りたいと思います。



# お出かけ日和

互助の館では、10月に日帰り旅行、3月に食事会を行いました。

日帰り旅行は、職員合わせて総勢29名で、出雲市多伎町にある『見晴らしの丘キララコテージ』へ行って来ました。天気に恵まれた事もあり、外でのバーベキューにはとても良い環境でした。火起こしは、なかなか火がまわらず大変でした。肉や野菜をひっくり返す時に落とすしまう場面もありましたが、利用者同士で皿に取り合い、和気あいあい、残さず食べておられました。近くには公園があり、食後散策を行い楽しい時間を過ごす事ができました。バスを降りてからの移動は、大変でしたが年配者を気遣う姿が見られたり、職員の重い荷物を運んでくれたりと、普段とは違った利用者さんの姿を見ることが出来ました。

食事会はアーバンホテル9階のレストランキャンドルを貸し切って行いました。バイキング形式のため種類が豊富で、どれを食べるか迷う方、色彩豊かで見ためも楽しむ方、みなさん思い思いに楽しく食べておられました。中には景色が良いと写真を撮る方や席を移動している人との会話をする方もおられました。皆さん、普段ではなかなか話しが



キララ バーベキュー

焼きそば、おいしいです!

できない人と会話ができたり、知っている人の意外な一面が見られたりと食事以外の楽しみもあつたようです。なかなか外食がしづらいななか、90分と短い時間でしたが皆さんの良き思い出の一つになりました。

コロナ感染症は5類へ移り、生活様式も徐々に変化してきています。互助の館では引き続き感染症対策を行いながら、利用者の方々と共に活動の場を広げていきたいと思っています。



アーバン 夕食会

あれもこれもおいしそうだよ!



話もだけど食事もね!

# ワークセンター島根の活動報告

就労継続支援A型事業

ワークセンター島根



ワークセンター島根ではココヨと提携し事務用品を作っています。主に品目はファイル、バインダー、最近では用箋挟の生産を行っており数百品種になります。ワークセンターの始まりは昭和55年4月。当時は身体障がい者福祉工場として誕生し、仕事がしたくても一般企業へ就職出来ない身体障がい者の働く場所としてスタートしました。当時の職員は手探りからのスタートで毎日遅くまで会議が行われていたのを覚えています。それから40年余りが過ぎ福祉制度も様変わりしています。福祉工場は就労継続A型事業所となり従業員と呼称していたのは利用者へ身体から身体、知的、精神の3障がいの方

の受入れそして生産が主体から利用者支援が主体となり利用者支援と生産に対応しなければならなくなりました。利用者支援につきましては基本は、今も変わらず、働きたいという思いに寄り添い働く喜びの提供、働く事で皆さんが社会の一員である事を感じてもらえるよう支援する事は引き継がれています。

利用者支援について、個々の目標を設定しその目標に対して支援をしていかななくてはなりません。利用者の皆さんのアセスメントをしっかり行い個人の思いをくみ取り支援をしていく事が求められています。

仕事をしたいと思う障がい者の方に就労



機会を提供し継続的に仕事ができる様支援していくこと、またゆくゆくは一般企業に就職することも考えておられる方もあります。ワークセンターはこれからも利用者の方をサポートし個々の方が健康で明るく生活出来る様取り組んでいきたいと考えております。

# 明るく楽しく生き生きワクワク

障がい者支援施設

光洋の里



当たり前の生活を困難なものにさせていた新型コロナウイルスでしたが、先般感染症法上の第5類に移行したことで、悶々とした状況に一筋の光が差し込み、希望を抱く喜びが利用者の表情にも見え隠れするようになってきました。今支援する側に求められているのは何なのか…。辿り着いた答えは「自立支援」でした。

紹介させて頂くのは、廣島孝氏、男性です。脊椎損傷のために下半身麻痺、日常生活は車椅子が欠かせません。廣島氏は、空いた時間をみつけて読書や他の利用者へ自ら働きかけて将棋やオセロを楽しみ日中活動への参加も積極的です。また、日課として花壇の手入れや献立表の書き換えを役割とされています。そんな廣島氏は自他ともに認める釣り好きで腕前も相当との事。自身のX(Twitter)には過去に釣行された様子を数多く掲載されています。春の外出ではキス釣りにも挑戦されました。その際の写真も紹介させ

て頂きます。ゆくゆくは大物を狙いたいとも。本人曰く「障がいがあっても、自分みたいに釣りを楽しむことが出来る事を伝えていきたい。変な先入観を持たずにチャレンジする気持ちを忘れないで欲しい」と。X(Twitter)だけではなく将来的にはYouTubeでの動画投稿もしていきたい、その思いを熱く語られています。

私たちは何を思いその支援に携わっているのか。廣島氏のように描くプランが明確であれば共にプラン達成に向けて寄り添う事で自ずと結果はついてくるかと思われれます。しかし、その思いを表現できない方もいらつしやいます。ひとえに自立と言っても個人により、過程や

咲き終わった花は、丁寧に摘み取ります。



咲き終わった花は、丁寧に摘み取ります。



(施設前の中海にて) 次回もまた頑張ります!!

ゴールは様々な形を成します。多種多様なゴールを目指す一人一人に寄り添い共に歩んでいければ何よりですし、どうせなら明るく楽しく生き生きワクワクと歩んでいけたら最高ですね。難しく考えず廣島氏のように、先入観を抱かず先ずはチャレンジする事。幸い光洋の里では、同じ志の支援員が日々切磋琢磨しております。

“Withコロナ”から“Withoutコロナ”へと舵がきられつつあるなかで、私たち福祉施設に求められるのは何なのか、今まさにその岐路に立たされているのではないのでしょうか。





# 「本格的リハビリウオーカー導入！」

## さざなみの活動プログラム、ますます充実！



私たちが真剣にお菓子作ってます



さざなみバリボーで元気回復！



みんな一緒に楽しく踊っています

さざなみは、ご利用者のQOL向上の役に立ちたいとの思いで、いろいろな活動プログラムを試行錯誤しながら実践しています。ADL支援はもちろんのこと、主に午後からは、レクリエーション活動や創作活動などを行っています。

さて、今年の3月、ご利用者のさざなみでもっと身体を動かしたいとのご要望や、昨今の健康志向の高まりもあり、本格的なウォーキングマシン「リハビリウオーカー」を導入いたしました！ご利用者の皆さんの体力に合わせて、プログラム設定を行い、楽しく身体を動かせる選択肢を増やしました。ゆっくりペースから早歩きペースまで、しっかりと身体を動かすことができます。以前からあるリカベンバイクも、ご利用者に大人気で、手軽にできる運動器具として、こちらも大活躍しています！さらに

さらに、さざなみは4月にインターネット対応の大型テレビも導入しました。今、流行っているフィットネス系の動画サイトに接続して、ご利用者、職員と一緒に動画を見ながら、楽しく身体を動かしています。「竹脇まりなチャンネル」が、ご利用者に人気があり、軽快な音楽に合わせて動くことで、皆さんの気分も上がっています！

フィットネス系の活動以外にも、レクリエーション活動や創作活動にも力を入れています。いわゆる「風船バレー」をさざなみ独自のルールに変換した「さざなみバリボー」も人気コンテンツになりました。立位の方、座位の方、どなたでも楽しく参加できるように改良に改良を加えて今のスタイルになっています。そして、毎月のお菓子作りも大人気です。ほぼほぼパティシエレベルの職員が中心となってメニューを決め

て、ご利用者と一緒に楽しく作っています。このように、さざなみはご利用される皆さんが、日常に少しでも楽しみを感じていただけるように、職員自身も楽しめる活動を日々考案して、皆さんのお越しをお待ちしています！職員もご利用者と一緒になって「楽しむ」これが大切だと思っています。これからも、さざなみの活動にご期待ください！



リカベンバイクも大人気



リハビリウオーカーで機能向上！



みんな楽しみお菓子作り



# 暮らしに音楽を

軽費老人ホームケアハウス

夢楽の郷



心と体に良い影響を与え、生活を豊かにしてくれる「音楽」。

様々な施設内活動の中でも音楽は欠かせないものとなっています。

今年度、音楽療養器機を新たに更新しました。音楽療養器機は進化をしており豊富な曲数、歌唱をリードしてくれるガイドボーカル機能、機能維持向上を目的とした様々な種類の体操や脳トレクイズ。他にも落語や紙芝居、昔懐かし映像、脳に良い周波数を与えるBGM。といった充実した内容は音楽療養が与えてくれる効果の重要性や需要の高さを感じます。

今年度2つ目の改革。1階ロビーにテレビ画面を導入し、音楽療養器機の内容をロビーでも楽しめるようにしました。ロビーは、入居の方が毎日集う場所のひとつです。行事活動だけではなく日々の生活の中に音楽療養を取り入れることで更なる機能維持向上を期待します。また合間の待ち時間などで同じテレビ番組の視聴を共有することで会話もはずみ入居の方の交流も深まります。3つ目の改革。活動の中でも人気なのが

カラオケ会。月2回、自慢の喉を披露される方や聞く専門の方が集まり楽しい時間を過ごします。そこで、より多くの方に音楽を楽しんでもらうために、過去にボランティアの方が盛り上げてくださった惜しまれつつ廃会となった「唱歌の会」を復活させました。唱歌の会では童謡・唱歌を中心に皆で歌唱します。年代問わず共通した音楽を楽しめるのが魅力です。

また重要なのがガイドボーカル機能です。歌唱に自信のない職員でもこの機能は大助かりです。自信がなかった歌唱もいつの間にか自信满满で入居の方と一緒に楽しめます。コロナ感染症が5類に移行し、ようやく時代に変化が訪れました。ですが、猛威をふるったコロナが存在しなくなった訳ではありません。高齢者施設は徐々に元の生活に戻しつつ、施設内の活動も進化させていく必要があります。夢楽の郷は、これからも音楽が日常にあり心と体に寄り添える支援をしていきたいと思えます。



1階ロビー：日中は心地よいBGMが流れリラックス。待ち時間が楽しくなりました。



脳トレ教室：リズムにのって歌って楽しく、体操で頭もスッキリ！



新しい曲も増えました。今日もはりきって熱唱♪

## 「お家に帰ろう」を実施して

詔光の里ではコロナ禍のこの三年間、面会が制限され、ご利用者、ご家族ともに不安を募らせる日々を過ごしていらっしゃいました。

コロナ感染症が落ち着いていた時期に、ご利用者のご家族がご自宅で過ごせるよう、新たな企画を試みました。

今年度も、ご家族がご希望された場合に随時対応を検討し、実施しているところです。

この度、ご自宅に向かう途中、道に迷ってしまい、ご利用者ご本人に道をお尋ねしたところ、しっかりと指差し案内をして下さいました。このご利用者は重度の難聴と失語がある方で、筆談での会話が主ですが、「我が家に帰る」ということをしっかりと理解していらっしゃいました。

ご自宅に着くと懐かしそうな表情で迎えるを見渡し、ご家族とのひとときを過ごしていらつしやいましたが、時が経つのはあっという間で、帰りの時間になってしまいました。車の中からご息の手を握り、一生懸命に「バイバイ」と手を振り、何かを伝えようとしていらつしやいました。

コロナ禍で面会制限を余儀なくされたことよって試みたこの企画ではありますが、ご自宅に着いた時の皆様の安心した表情や笑顔、「またこの家に帰れるとは…」と涙を流されるご家族…、我が家が一番ということを改めて深く感じました。

### 《7カ月振りの母の一時帰宅を喜ぶ》

5月10日（水）の午後に母、青山美喜江の一時帰宅の許可がおり一時帰宅が実現しました。

昨年、10月にショートステイ

先にて転倒、骨折をして松江

生協病院への入院以来の7カ月ぶりの我が家でした。

当日は、午後2時に施設長と介護士に付き添われて帰ってきました。今年1月に1階の外窓のアルミサッシのリニューアルを3つの部屋を通して工事をしました。一新したので、母にみてもらいました。

母の日にちなんで、私たち夫婦からのお菓子のプレゼントも渡して喜んでもらいました。

五月晴れのお天気の中、花壇の満開のシャクヤクの前で、介護士さんに記念写真も撮ってもらいました。言葉と笑顔は出なかつたけれど、つやのいい顔からは、満足の表情が伺えました。何回かの握手より、母の元気が伝わってきて安心しました。

お世話になりました、詔光の里様には深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

令和5年5月14日

青山 喜一  
(青山美喜江・長男)

(ご家族様にご了承を頂き掲載しております)



## 花餅作りを通じて

### 老人デイサービス事業 きらめき



雛祭りの時季に、きらめきではレク活動の一環として初めて花餅作りを行いました。花餅は見た目が美しいだけではなく、どこか懐かしさも感じられる松江の伝統菓子です。

利用者様に聞くと「昔、作っていたよ」「久しぶりに聞いた。懐かしいね」と話して下さいました。もちろん初めて知る利用者様もおられ、特に鮮やかな色粉には興味津々の様子でした。

そして用意したレシピをもとに、皆さんの経験と勘を織り交ぜながら、当時はコロナの心配もまだありましたので、安全には

十分に配慮しながら行いました。

作る過程では、湯を足す人、捏ねる人、あんこを丸める人、それぞれが協力し合いながら「もうちょっと柔らかいのが良いんじゃない？」等、会話が弾みながら取り組みました。材料を手に取り、自分たちの手で花餅が鮮やかに形作られていく様子に皆さん、喜びも感じて下さっている様子でした。和やかな雰囲気の中で交流が深まった瞬間でもありました。

花餅は10分程度蒸すのですが、「そろそろかな？」と言って蓋を開けると、より色鮮

やかになった花餅が、湯気の中から顔を見せてくれました。その瞬間「わあっ!!」「綺麗!」と歓声があがり、笑顔もあふれました。花餅作りは皆さんと職員にとつて楽しく有意義な時間となりました。また何かを作り上げる喜びを感じるだけではなく、集中力を養い、指先の運動にも繋がったのではないかと思います。

きらめきでは、皆様との何気ない会話や活動でも、新たな発見や体験が得られるよう、その思いを大切に、工夫して取り組んでいます。

今後も様々なイベントやプログラム、機能訓練を通じて、皆様の笑顔と幸せをサポートさせて頂こうと考えております。

# 買い物支援

老人・障がい者ホームヘルプサービス事業

ねぎらい



訪問介護の仕事には、入浴介助や排泄介助、通院介助などの「身体介護」と掃除や洗濯、調理などの「生活援助」の2つに大きく分けられます。買い物も生活援助になりますが、「買い物」というと「頼まれたものを買うだけでしょうか？ 簡単そう」とイメージされる方が多いのではないのでしょうか。

現在、ねぎらいで買い物支援を希望される方の多くは、高齢になり自分で出かけることが難しくなられた方、免許返納等で移動手段がない方々です。訪問すると、まず今日の買い物の品についてメモを頂いたり、こちらで書き出して確認を行います。

ご希望の商品メーカー、野菜や果物の品種、安いものが良いか高いものが良いか、もしも売れていなかった場合の対応（そのまま買わなくてよいか、何か代替品を買うか、買うなら何が良いか）……等々。ここで確認を



買い忘れはないかな…



あった、あった、このパンだ！



買った物は一緒に確認しながらお渡しします

すっかり行っておかないと、いざお店に行った時に困ってしまうことになりかねません。お店に行つて、必要な品が全て買えるとホッとします。

また、ご利用者によっては「何でもいいよ」「あなたにお任せするわ」と言われる場合もあり、「どんなものを好まれるかな」「これはあの方が食べるには硬すぎるかな、量が多すぎないかな」等、ご希望の品が決まっている時以上に頭を使います。しかし、訪問時間は限られており、買い物後に掃除支援をする場合もあるので、自分の買い物の

時のようにいつまでもお店にいるわけにもいきません。素早い決断が必要です。買い物から帰つて品物をお渡しする際に「ああ、嬉しい！」と言われると、また次回の訪問ヘルパーに、こんなものが喜ばれたよというのを伝達します。逆も然りで、これはあまり好みではないみたい……ということも申し送り共有します。

このように、買い物支援も掃除と同様に、ご利用者によって様々なパターンがあり、なかなか難しいものです。本来なら若い頃のように自分でお店に行つて、自分の目で商品を見て選んで買いたい、と誰もが思つておられます。その代わりに行くのがヘルパーです。可能な限りご自分で買い物される時と同じようにして差しあげるべく、多くの配慮を心掛けながら買い物支援を行っています。

# 出会いに感謝

## 訪問看護ステーション 暖心

暖心の訪問エリアは松江市内全域です。私の訪問は、北は秋鹿方面、南は八雲にと、日々街中の賑わいと田園風景を体感じながら働いています。

昨年から関わっているKさんは食事が食べにくくなり、点滴のために訪問開始となりましたが、徐々に落ち着かれて入浴もできるようになりました。お風呂好きのKさんは、「あゝ、気持ちいいわ」と少々長めに入っておられ、満足されたお顔に私もうれしくなりました。「春はお花見にも行けたし、鯉のぼりも見れたね。」と生き生きとした表情で娘さんとお話している姿を見て、自宅で家族とともに過ごすことは大きな安らぎなることを感じました。

「病気や障害があつても住み慣れた家で暮らしたい」、「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。しかし、

「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫？」と不安に思うことが多いと思います。そんな時に頼りになるのが訪問看護です。訪問看護の強みは、地域で暮らす方に関係職種と協力し合って、一人ひとりに必要な支援が行えるところです。

暖心は、「その人らしい暮らし」を支援していきます。





平成11年10月1日に開設された「居宅介護支援事業所ナイス」は、今年で24年を迎えます。開設当初から現在まで、様々な職員が介護支援専門員として関わってきました。開設当初は兼任が主流であった勤務形態も、現在では3名のうち2名が、介護支援専門員として採用され専任で業務に就いています。

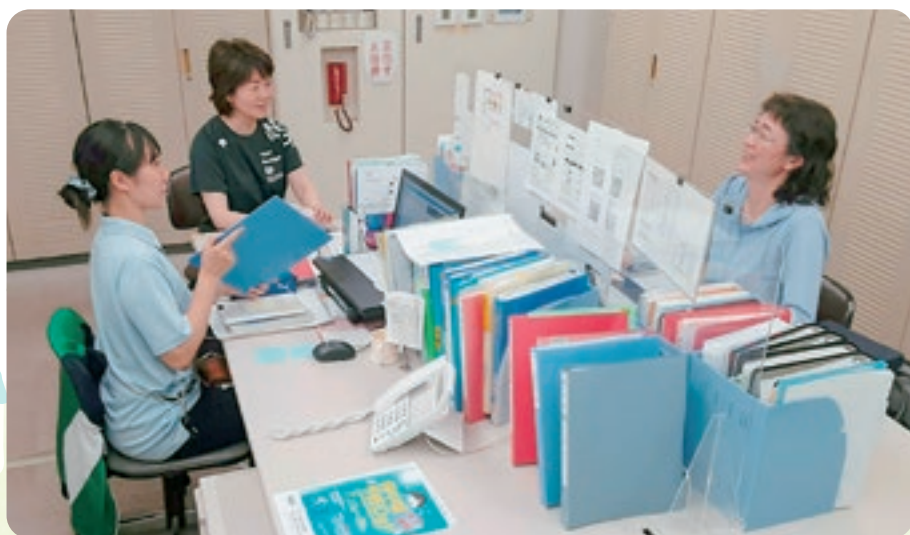
24年という月日が経ち、ご利用者のほとんどが昭和生まれの方々となり、暮らし方も少しずつ変わってきているように感じます。

新しく担当させていただいているA様は、デイサービスを利用されており、利用開始当初のことを長女様が教えて下さいました。もともと計算が得意だったのですが、デイサービスを一緒に利用されている方の中にも同じように計算が得意な方があり、同時に計算問題に向かうと、いつもその方に負けてしまうため悔しい思いをされています。

たそうです。そこでA様は、毎日自宅でも計算問題に取り組み、休憩をするよう長女様が声をかけられなければ、長時間でも集中して向かわれたそうです。その時のことをA様にお聞きすると、「その人に負けないというのもあるけど、なんでも一生懸命するとおもしろいが。」と話して下さいました。

“なんでも一生懸命するとおもしろい”という言葉は、忘れかけていたような言葉でもあり、ただ単に負けたくないという気持ちだけでなく、同じやるならなんでもおもしろがつてやったほうが気分も良いということではないかと察しました。

年月が経ち暮らし方に変化はありますが、A様のような心持の先輩がいらっしやることをうれしく感じ、時代は移り変わっても、変わらないで欲しい人の本質を、自分たちも持ち合わせていたいと思った出来事でした。





# すまいる★ 笑顔で心を通わせ繋がりが合おう!!

R4年度から園全体で、「すまいるプロジェクト」に取り組んでいます。

★子ども・保護者・職員が、「笑顔」で、目と目を合わせ「瞳に映る瞬間」を大事に、「一言」を添え、心を通わせ、繋がりが合おう。

★園や子どもの様子が家庭に「視える」「伝わる」工夫をする。様々なツールで、日々の保育や子どもの育ちを共有し、子どもを中心とした良質なコミュニケーションに繋げよう。

具体的には、玄関ホールを活用し、毎月クラスごとに子どもの作品を展示、秋・ハロウィン・クリスマス・お正月・ひな祭り時等には、全クラスの子どもの作品を一齐に展示したり、行事の環境を再現したりしました。また、毎日のクラスの様子をドキュメンテーションで張り出しました。



クリスマス会：バルーンアートしたんだね!!



育児講座：親子で触れ合って!!子育てを楽しもう!!

今年度は、親子一緒に保育に参加する機会をたくさん計画し、実施しています。

【4月】  
以上児、「にこにこ親子ふれあいデー」を実施。3歳児はお弁当作り（素材あそび）、4歳児はエコバック作り（貸出絵本の袋作り）、5歳児は陶芸でお皿作りをしました。親子で、心通わせ製作を楽しむ時間になりました。

【5月】  
園の周辺には、古代出雲の史跡がたくさんあります。日頃からその自然の産物に触れ、体力増進のためにも園外保育に出かけています。保護者の皆さんにも散歩の体験をしていただきたいと考え、3歳児は山代郷、4歳児は風土記の丘、5歳児は天狗の森に親子で徒歩遠足を計画しました。しかし、残念ながら雨。子どもと保護者の皆さんの期待が大きかったので、秋に順延予定です。

【6月】  
未満児、「にこにこ親子ふれあいデー」を実施。0歳児はふれあい遊び保育参加と離乳食講座、1、2歳児は今年度から導入のトレンタ運動遊びの親子体験、未満児全保護者対象に石倉有子先生を講師に育児講座を行いました。育児講座には、62名の保護者が参加され、「子どもの黒い瞳に映る瞬間を大事にしたい。」と多くの感想をいただきました。

また、園舎前の花壇に、全親子でひまわりの種を蒔きました。花壇のネーミングは公募し親子で考え、たくさんの中から、「にこすま★はっぴーがーでん」に決定しました。看板は年長児

が作成。この夏は、「葉っぱの数」が8枚になったね」「ひまわり1号が開いている!!」「152個目のひまわり!」と親子でひまわりの生長を見守りました。園から帰り、車やお風呂の中で、食卓を囲んで、共通の話題があること、その小さなやりとりの積み重ねが暮らしの中の彩りを増し、人や物に思いを寄せる優しい気持ちの育みを営み、心豊かで温かい関係を築いていくのではないかと考えます。

今年度からICTを導入し、毎日の園やクラスの様子、子ども達の育ちの過程を時に写真を添えて保護者の携帯アプリに配信しています。このことも、園のこと、子どものことが可視化できる有効な手立ての一つになりました。

しらゆり保育園は、今年の6月3日、設立55周年を迎えました。多くの子ども達、保護者の皆さん、地域の皆さん、職員との出会いの中で、たくさんのお思いと知恵と力に支えられ、「今」があると、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、瞳に映る瞬間を大切に繋がりたい、保育園の歴史とともに笑顔溢れる園でありたいと思います。



にこすま★はっぴーがーでん  
親子で笑顔の花を咲かせよう!!

# 体を動かすって楽しいな！

## ～毎日、楽しく体を動かす子どもを目指して～

### しらゆり第2保育園



生涯にわたる健康の基礎を作る幼児期。健康な心身を育てるため、日常生活や遊びの中で、子ども自身が「体を動かすって楽しい！」と感じながら、経験を積み重ねていくことを大切に保育活動をしています。

毎朝、9時15分、職員「おはようございます！ さあ！ 元気に体操しましょう！」の声と共に、子どもたちが馴染みやすい♪ドラえもんラジオ体操♪が園内に流れます。その後、保育園オリジナル「お口の体操」をします。「お口の体操」は、歯科検診の際、舌をべえーと出すことができにくい子どもが多くいたことから、職員で動きと歌を考え、取組みを続けています。ラジオ体操・お口の体操に新しい体操や盆踊りなど季節に合わせた体操もプラスしてやっています。年長児が小さい組に行き、一緒に体操をすることで、異年齢のふれあいの場となっています。

広い園庭では、追いかっこやリレーをしたり、鉄棒、雲梯、三輪車などの遊具を使ったりして、日頃の生活の中であまり使わな

動きも、遊びを通して身につけていけるようにしています。また、遊戯室や保育室の室内でも、年齢発達に合わせ様々な用具を組み合わせた環境を用意し、子どものワクワク感、体を動かして遊ぶ楽しさや意欲を引き出していくようにしています。

日々の体を使った遊びについて、保育参観の場やメール配信で写真や表情を言葉添えながら見ていただき、保護者の方にも体を動かすことの大切さを伝えることを心掛けています。

しらゆり第2保育園も昨年度で創立50周年を迎え、現在の場所に移転新築して14年が経ちました。広い園庭、遊戯室と恵まれた環境の下、子どもたちの健やかな成長を願いながら、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動機能の基礎を培っていきたいと思います。そして、様々な活動への意欲や社会性、創造性を育てていくよう、保育の充実を職員で図っていききたいと思います。



「よいしょ！」自分と同じ胸の高さのマットの山をよじ登ります。手足を上手に使って目と手の共感性も育ちます。



園庭は大きなキャンパス！ 四角を描いたら飛び石のようにジャンプ。くねくね道ではケンパやドンジャンケン。環境を用意することで子どもたちの遊びは無限大に広がります。



いち、にー、さん、し…ラジオ体操は全身の筋肉をバランスよく動かすことができる運動です。



がんばれ青！ がんばれ黄色！ リレーは子どもたちが大好きな園庭遊びのひとつです。体力、協調性などが育っていきます。



足の力を使い、地面をしっかり蹴って三輪車レース！ 下半身が鍛えられます。



自分の体重を2本の腕だけで支え、進んでいく力…すごい力です。大人の皆さん、今できますか？



# 新しい風 ～エルダー制度を取り入れて～

## しらゆり第3保育園

春のさわやかな風と一緒に、しらゆり第3保育園にも、新しい職員が仲間に加わりました。

しらゆり第3保育園にとっては、数年ぶりの新規採用者でした。この若き将来ある職員を大切に育成していくことを願い、園長の提案でエルダー制度を取り入れました。4月、エルダー担当職員（1名）は園長と一緒に研修を受け、その内容を職員会で周知しました。

① 毎月行う「エルダータイム」は、大切な人材育成の一環であることを説明し、時間的、場所的なことに関して理解を得ること。

② エルダー制度は、担当制ですが、担当者のみに任せるのではなく、園内全体でフォローして行くことが大切であること。

③ エルダー（先輩職員）のフォローを行っていくことが必要である。

この3点を中心に、職員の共通理解を図りました。

5月から、お昼寝の時間を使って、実際にエルダータイムを設けました。日ごろ、緊張感を感じられる新規採用職員でしたが、個室からは、笑い声が聞こえてきたり、エルダータイムが終わったときに新規職員とエルダー（先輩職員）が笑顔で出てきたりした様子から、少しでも有意義な時間が過ごせたことが何うことができ、安心しました。今後もエルダー

タイムでは、雑談を交えながら、新規採用職員が直面している仕事での不安などを年齢の近い先輩職員に聞いてもらうこと、アドバイスをしてもらうことで、少しでも気持ちが悪くなつてくれたらと願っています。

6月に入り、新規採用職員の笑顔がさらに増え始め、良い意味で緊張感がほぐれてきているように感じられました。新規採用職員の日々の努力と、園全体の優しい先輩職員達のサポートのおかげではありますが、エルダー制度も一役かつてくれていれば嬉しいのです。

今年度は、園内で同世代の新規採用者が1名であり、真面目で一生懸命、謙虚な姿勢の新規採用職員だからこそ、「エルダー制度導入」はあつていたのではないかと考えています。

また、エルダー担当職員には、日々の忙しい時間を割いて、心穏やかに、優しく親身になって対応してくれていることを感謝しています。

今後に向けて、新規採用職員の日ごろの様子から、エルダータイムを月2回に増やしてみることなど、どういった形が最適なのか、試行錯誤をしているところです。子どもたちやよい良い保育の為に、来年度から更に新しい風が吹くよう、新規職員育成に繋がるエルダー制度の基盤を作っていきたいと考えています。



毎月行っているエルダータイム。  
和気あいあいと和やかな雰囲気です。



「げんきKIDS」(山陰ケーブルビジョン)の取材の1コマです。  
2人一緒に少々緊張気味。

# しらゆり千鳥保育園のあゆみ

## ～豊かな自然・文化に囲まれて～

### しらゆり千鳥保育園



「しらゆり」最終号にあたり、しらゆり千鳥保育園の歴史を紐解いてみました。

公立千鳥保育所として産声をあげたのが昭和25年のことです。昭和47年に現在の地に新園舎ができ、民間移譲の形で現在のしらゆり千鳥保育園となったのが平成11年です。50年以上堀川に囲まれた閑静な住宅街にあり続けている保育園であり、ここから巣立ってまたわが子を同じ園に通わせたいとおっしゃる方もたくさんおられるのは、環境の良さと諸先輩方の素晴らしい保育があったからこそと感じています。

長年に及ぶ園生活を「しらゆり誌」から読みとつてみると、特筆されるのは松江市指定文化財の普門院、城下町を散策しながらお散歩に行く松江城山、素晴らしい見晴らしと竹林の豊かな千手院などの名所にふれることができる素晴らしさで



す。それに加えて、様々な体験活動があったことがわかります。毎年行う栽培活動やしらゆり太鼓をはじめ、あいがもとのふれあい、堀川遊覧、高齢者会との交流、毛筆体験、空手体験、銭太鼓など、その時代に応じた豊かな活動が園児の心身を成長させてきたものと思われまます。

こうした活動に加え、近年力を入れているのがSDGsの取組です。年中組では、給食で使った小松菜の根元を水につけ、新

たな葉を観察し、成長した葉をクラスで調理して味わいました。年長組は、給食の果物「みしょうゴールド」の皮を集め、千切りにしてジャムにしました。園児たちは、捨てるものというイメージの植物の根や柑橘類の皮が食べられるものに変わっていくことを体験し、それを自らの舌で味わうことで、驚きを感じています。それが食品を大切に扱う視点からのSDGs体験となってくればと思います。

こうして、長く続いてきた本園の良さに、新しい風を吹き込みつつ、魅力あるしらゆり千鳥保育園として、成長し続けたいと思います。

社会福祉法人第2条 第2項	第1号	生活保護法に規定する 救護施設	救護施設 <b>泉の園</b> 松江市矢田町 534-4 TEL.0852-24-3512 / FAX.0852-27-6987	
	第3号	老人福祉法に規定する 特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム <b>詔光の里</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 / FAX.0852-27-6982	
			軽費老人ホームケアハウス <b>夢楽の郷</b> 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 / FAX.0852-31-9038	
第4号	障害者総合支援法に 規定する障害者支援 施設	障がい者支援施設 <b>希望の園</b> 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 / FAX.0852-21-2829		
		障がい者支援施設 <b>光洋の里</b> 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 / FAX.0859-45-5411		
社会福祉法第2条 第3項	第2号	児童福祉法に規定する 保育所	児童福祉施設 <b>しらゆり保育園</b> 松江市大庭町 135-1 TEL.0852-22-3803 / FAX.0852-60-7132	
			児童福祉施設 <b>しらゆり第2保育園</b> 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 / FAX.0852-60-7131	
			児童福祉施設 <b>しらゆり第3保育園</b> 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 / FAX.0852-60-7130	
			児童福祉施設 <b>しらゆり千鳥保育園</b> 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 / FAX.0852-60-7135	
	第4号	老人福祉法に規定する 事業	老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 <b>ねぎらい</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 / FAX.0852-27-6982	
			老人デイサービス事業 <b>きらめき</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 / FAX.0852-27-6982	
	第4の2号	障害者総合支援法に 規定する障害福祉 サービス事業	就労継続支援A型事業 <b>ワークセンター島根</b> 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 / FAX.0852-31-1167	
			生活介護事業 <b>さざなみ</b> 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 / FAX.0859-45-1107	
			共同生活援助事業 <b>互助の館</b> 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 / FAX.0852-67-3500 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-31-8313 / FAX.0852-31-8313	
			相談支援事業所 <b>ねくすと</b> 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 / FAX.0852-21-2829	
	社会福祉法第 26条 第1項	施行令 第4条	介護保険法に規定する 居宅介護支援事業他	居宅介護支援事業所 <b>ナイス</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 / FAX.0852-27-6982
				訪問看護ステーション <b>暖心</b> 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 / FAX.0852-27-6982

表紙写真

「しらゆり」の表紙は、毎回発行を担当する事業所の一コマを掲載してまいりました。

今号は、しらゆり会統括事務局を中心に、全事業所の外観を掲載し終刊号とさせていただきます。

編集後記

広報誌「しらゆり」は、今号（第39号）を持ちまして終刊することとなりました。

平成9年7月に第1号を発刊し、その時々に沿った事業所の話題を掲載してまいりました。

今号も、コロナの自粛が緩和され、3年間直向に頑張ってきた事のご褒美のように、生き活きとした施設の表情が伺えます。長きに渡りお読み頂きましたこと、心から感謝申し上げます。今後は、社会福祉法人しらゆり会のホームページを一新いたしましたので、定期的に事業報告や各施設の活動報告を配信してまいりたいと存じます。今後とも宜しく願い申し上げます。感謝の意味も込め「サンキュー号」とさせていただきます。

# しらゆり

ギフキョム  
第39号  
2023.10  
October

【第39号】令和5年10月発行  
発行人／理事長 国頭正治  
発行／社会福祉法人しらゆり会  
印刷・製本／株式会社谷口印刷

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。右のQRコードからアクセスしてください。

<https://www.sirayurikai.or.jp>



ホームページを  
リニューアルしました！



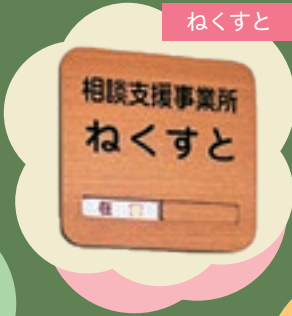
暖心



さざなみ



夢楽の郷



ねくすと



きらめき



ねぎらい



しらゆり保育園



しらゆり第2保育園



しらゆり第3保育園



しらゆり千鳥保育園